

今月の技術対策
(水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

畑作・園芸編も
HPで公開中!

1 生育状況

いよいよ収穫の時期を迎えました。本年は平年より7～11%穂数が多く、9月1日現在の生育は3～6日早く進んでいます(表1)。成熟期が早まると推測されるため、早期に適期収穫に向けた準備を行いましょ。

表1 9月1日現在の生育状況(普及センター調査)

	成苗ポット ななつぼし			中苗マット 風の子もち		
	本年	平年	遅速	本年	平年	遅速
稈長 cm	74.4	70.9	早3	65.4	66.8	早6
穂長 cm	17.0	16.5		16.7	16.7	
穂数 本/m ²	568	508		563	527	
一穂籾数	60.0	64.2		60.0	63.5	
m ² 穂実籾数	33,131	30,985		33,792	33,194	
出穂期	7/24	7/27		7/28	8/2	
成熟期	-	9/11		-	9/22	

【収穫適期の判定】

適期刈取や適正な乾燥・調製の実施により良食味・高品質米生産に努めましょ!!!

(1) 日平均積算気温による予測

- ・出穂後の日平均気温の積算値で約950℃に達する日が成熟期と予測できます(表2)。
- ・成熟期から概ね1週間が収穫適期となるため、近づいたら黄化籾や玄米を観察して収穫の判断を行いましょ。
- ・普及センター調査ほ場の予測成熟期は、**成苗ポット「ななつぼし」では9/6頃、中苗マット「風の子もち」では9/10～14頃**となります。

表2 出穂期別の成熟期予測(8/30現在のアメダスより)

出穂期	7/20	7/22	7/24	7/26	7/28	7/30	8/1	8/3
苫前・羽幌	9/2	9/4	9/6	9/8	9/10	9/12	9/15	9/18
初山別	9/3	9/5	9/7	9/9	9/12	9/14	9/17	9/19
遠別	9/3	9/5	9/7	9/9	9/11	9/14	9/17	9/19

※ 成熟期は土壌条件や総籾数などで変動します。8/31以降の平均気温は平年値を使用。

(2) 黄化粃の割合からの収穫適期判定

- ・成熟期に近づいたら黄化粃の割合で収穫適期を判断します。
- ・不稔粃や遅れ穂を除いて、全体の90%が完熟粃（図1の右のように、粃、護えいともに黄色）になったら、収穫可能となります。
- ・成熟期に近づくと、黄化粃は天気の良い日に1日当たり2～3%程度増加します。

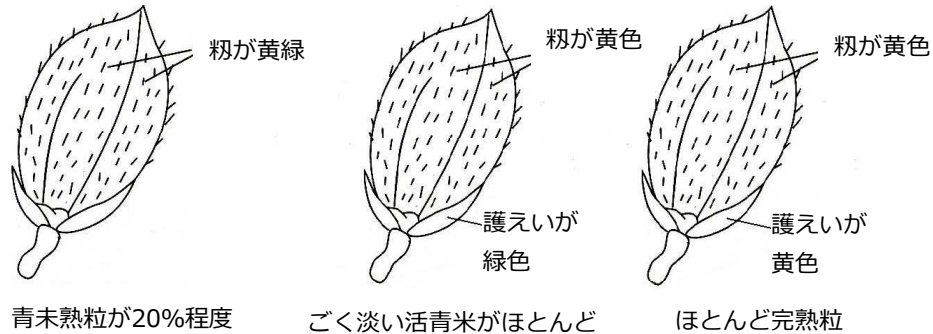


図1 熟色と玄米品質

(3) 玄米による収穫判断

- ・予想成熟期の7日前頃（黄化率70%）と適期の3日前の2回実施しましょう。
- ・水田内で平均的な生育をしている箇所から3～5株採取し、天日で1～2日程度乾燥後、ミニダップ等で粃すりし青米率を観察します。青米率10～15%で刈り取り可能です。

2 収穫作業の注意点

- ・余裕を持った収穫作業に向け、コンバインや乾燥機の整備・清掃を行いましょう。
- ・倒伏や褐変穂、生育の不揃いなどは別刈りし、別調製を行いましょう。
- ・倒伏した稲は追い刈りで収穫します。向かい刈りする場合はコンバインの速度を落として行きましょう。

3 乾燥 ～急激な乾燥は控えましょう！～

(1) ヤケ米の発生防止：粃水分30%以上の場合は5時間以上堆積しないようにしましょう。

(2) 2段乾燥を行いましょう。

- ・毎時乾減率0.5%～0.6%程度で乾燥します。

※毎時乾減率0.8%以上で行うと“胴割れ”が急増します。

- ・好天日や張り込み量が少ない等、乾燥が進みやすい条件下では、熱風温度を下げましょう。

(3) 粃すりは肌ずれ米を発生させないように、粃温が十分低下した後に実施します。

(気温との差が5℃以下)。

表3 粃の貯留可能期間

収穫粃含水率	26%	26～22%	22～20%	20～19%	18%以下
貯蔵可能時間	8時間以内	30時間以内	3～5日以内	7～15日以内	30日以内

～ 農作業事故には十分注意しましょう！ ～